

韓国 建陽大学

[最終回]

現代政策学部 3年 寺林柚穂



留学生活も最後の月になりました。1月の韓国はとても寒く、マイナス15度などになって風が吹くだけで顔がとても痛くなります。韓国ではこのように風が吹くだけで刺さるような痛さを感じるので「まるで身を切るような風」という意味で「カルバラム」と呼ぶときがあります。「カル」は韓国語で「包丁」という意味で「バラム」は「風」という意味です。

私自身初めて海外で年を越し、今まで私が経験してきたお正月とは違い、新鮮な年越しをしました。また今月は留学生活最後の月ということもあり、今まで交流していた友達や先生方と食事に出かけることが多かったです。

韓国は日本とは違い、陰暦がある国なので1月1日は韓国ではお正月の時期ではありません。なので1月1日は日本ではお正月ムードですが、韓国ではまったくお正月ムードではなく、私自身本当に年を明けるのかなとすごく不思議な気分でした。しかし、韓国では数え年で年をとっていくので1月1日になった瞬間に全員が1歳年をとります。私は今現在日本で20歳ですが韓国では22歳になりました。よく知り合った人に何歳か聞かれることが多いのですが、そのたびに22歳と答えているので、日本に帰ったら2歳若返ると考えるととても変な気分です。

今月はいろんな人と食事に出かけることが多かったと言いましたが、今月を振り返ってみると一人で食事をした日が本当にありませんでした。毎日お昼は友達と食堂や学校の近所にあるお店で食べて、夜も毎日友達やときには先生方と食べたりしていました。せっかく留学をしているので毎日誰かとほんの少しでもいいから韓国語で話すことが大切だと思います。

私は韓国に来たばかりの頃、本当に韓国語が話せませんでした。しかし今は、クラスメイトと韓国語で会話をして、一緒にご飯を食べたり遊びに行ったりしています。つい先日韓国の友達とご飯を食べたのですが、その友達は私が韓国に来たばかりの私を知っているので私の韓国語を聞いてびっくりしていました。そういう風に驚いてもらえるほど自分の韓国語が上達したのかと思うととても嬉しかったです。



建陽大学は 100 人を超える留学生が韓国語を勉強しています。みんな切磋琢磨して勉強するのでみんな韓国語が上達していき、またほかの国の友達がたくさんできるのでとても楽しいです。しかし、もう少しで私は留學生活が終わり帰国してしまうので、みんなと離れるのがとても寂しいです。